



鳳仙寺

所在地 桐生市梅田町1丁目58
電話番号 0277-32-1177
住職 坪井 良廣氏

戦国時代、桐生城を攻略した太田金山城主由良成繁が天正2年（1574）に開山した寺である。参道の鬱蒼とした杉木立、沢に落ちる小滝、山門に続く古色蒼然とした石段が深山の趣を漂わす。「鳳凰が飛び仙人が遊ぶ霊境の地」が寺の名の由来となっている。

境内は本堂のほか、冠木門・山門（楼門）・開山堂・秋葉三尺坊大権現堂・鐘楼・輪蔵・壇信徒館・鎮守三社などを配し、伽藍の規模は市内最大級である。

まず目に入る山門は、桐生市指定重要文化財、格調の高い禅宗様式の楼門で、均整が良くとれ、雄大で豪華な優れた建築意匠を示すもので、桐生市域には類を見ない大きさである。

山門脇の鉄眼版一切経全6700巻を納めた「輪蔵」、「本堂」、「梵鐘」も桐生市指定重要文化財、本堂裏の五輪塔は「由良成繁の墓」で桐生市指定史跡であり、境内は文化財の宝庫でもある。

この豊かな自然と歴史ある空間を活用し、コンサートなどのイベントが催されており、文化活動並びに地域開放にも積極的である。

